

「国際人権・人道法からみた今日の武力紛争—— ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・ハマス紛争、 そして……」

2023年12月5日(火) 19:00-20:30

開催方法：オンライン（ZOOMウェビナー）

※後日アーカイブ配信予定

無料



<登壇者>

根岸 陽太氏

西南学院大学 法学部・国際関係法学科 准教授。

博士（公法学、早稲田大学）。日本学術振興会、マックス・プランク比較公法・国際法研究所を経て、2017年～現職。

今、ウクライナでもパレスチナ・ガザ地区でも、ロシアとイスラエルによる集合住宅、学校、病院、難民キャンプ、インフラ施設を標的にする激しい空爆で、おびただしい数の民間人が日々死傷（ガザではその40%が子ども）しています。深刻な人道危機と支援の必要性が強調される一方、そうした行為を国際犯罪として訴追する動きは限定的で、国連安保理による対応も期待できないなかで、殺戮と破壊は止みません。国際社会は人権という価値観と戦争における人道を法規範として共有しているはずではないのか？

今回は、この分野の若手研究者である根岸陽太さんに分かり易く解説して頂きます。

【お申込について】

申込フォーム▷<https://forms.gle/XNi4HSLM8gtmcsYR9>

12月3日(日)までにお申し込みください。

お申込みいただいた方には、前日までにZOOMリンクを送付いたします。

裏面の注意事項をよくお読みください。

【お問い合わせ先】

認定NPO法人 ヒューマンライツ・ナウ事務局

メール：info@hrn.or.jp





【注意事項】

※イベントの進行を妨害される恐れがある、または本イベント登壇者・主催者の心情を傷つけたり誹謗中傷する恐れがあると主催者が判断した場合、途中で退席いただく可能性があります。予めご了承ください。

※また、発言・登壇者の方に、より自由な議論をしていただけるよう、ウェビナー中の発言をSNS等で対外的に発信・中継する等の行為はおやめください。

※受講者による録音・録画・スクショは禁止とさせていただきます。

※記録のため主催者側にて、本イベントの配信を録画させていただいております。
(後日アーカイブ配信予定)

※本イベントで得た情報について対外的に引用される場合には、当該部分に関する発言者の所属や氏名に言及しない形で引用するようお願いいたします。(チャタムハウスルール)

＜主催＞認定NPO法人ヒューマンライツ・ナウ（関西グループ）

ヒューマンライツ・ナウ(HRN)は、法律家や研究者、ジャーナリスト、NGO関係者等が主体となって、2006年に設立された、世界で確立された人権水準を国内外で実現するための国際人権NGOです。

国境を越えて世界、特にアジア地域の人権侵害をなくすため、侵害に苦しむ地域での事実調査、実態の告発と意識喚起、政策提言とアドボカシー、草の根で人権を守る人々への支援とエンパワーメントを通じて、人権状況の改善のために活動しています。

2008年から活動をはじめたHRN関西グループでは、HRNの女性プロジェクト、ビルマプロジェクト、中国プロジェクト等の企画に携わり、現地への訪問や報告書の作成などを担当してきました。

ホームページ、マンスリーサポーター登録
メルマガ登録、SNSフォローはこちらから！

